



学校教育の取り組み 動物愛護の取り組み （市民クラブ）

質問 小学校の英語教科化に伴い、授業時数の増減、また教科の評価の形はどう考えているか。

回答 外国語活動を週1時間新設し、年間の授業時数は、小学校1年生が34時間、2・4年生が35時間、5・6年生が70時間実施する予定である。評価は、どのような形がよいか、有識者の助言も聞きながら検討したい。

質問 橋名湖畔の橋名吾妻荘を利用する林間学校が開校されるが、子どもたちに何を体験し、何を学んでもらいたいのか。

回答 榛名の豊かな自然環境を生かし、子どもたちが友達と協力してやり遂げる大切さを学んでもらいたい。



借上市営住宅整備事業 時田 裕之 （新風会）

質問 借上市営住宅の入居資格や入居状況などの概要は。

回答 中心市街地の活性化策と定住人口の回復を目的として東町、旭町などの中心市街地に建設され、現在、6団地95戸を借上市営住宅としている。借上期間は20年間で他の市営住宅と同様、市内在住や収入などで審査している。入居者の平均年齢は38歳で、家賃は2LDKの標準世帯で2万4千円から4万

円と低額であり、現在空き部屋がないほど人気が高い。

質問 民間賃貸住宅を借上市営住宅として利用する考えは。

回答 既存の民間住宅を借り上げること可能だが、すでに居住している方との家賃に大きな差が生じるなどの問題がある。また、公営住宅として借り上げるには公営住宅法などで定められた整備基準に合う改修も必要となり、現時点で新たに借り上



箕輪城と「真田丸」 小栗上野介忠順の功績 （市民クラブ）

質問 平成28年のNHK大河ドラマは「真田丸」であるが、箕輪城をどうPRしていくのか。

回答 真田史料集によると、真田幸村の祖父、幸隆が信州海野平の合戦に敗れ、長野県政を頼って箕輪城に逃れてきた時、業政は4年間、箕輪客として受け入れたとされ大変ゆかりがある。また、「真田丸」は本県も舞台になると思われ、全国から箕輪城を訪れる観光客の増加が見込まれる。この機会に地域住民や市民へ箕輪城の歴史について周知を図り、ボランティアガイドである語り部の会と連携し、長野氏と真田氏との関わりを箕輪城



高崎自然歩道の整備 清水 明夫 （新風会）

質問 山上碑と金井沢碑のある高崎自然歩道は、上野三碑を盛り上げる上で欠かせない観光資源である。駐車場やトイレの整備が課題だが、取り組みは。

回答 水洗トイレの建替えや道路整備に取り組みほか、案内標識や新たな駐車場整備を進めている。上野三碑の世界記憶遺産登録に向け、今後も自然歩道の見直し整備に順次取り組みたい。

質問 今、外国人観光客が日本に求めるものはリアルジャパンであり、都市も田舎も味わえる本市には、需要が確実にある。民泊は空き家活用の具体的施策としても有効と思うが、考えは。



渋谷ヒカリエで開催されたシティープロモーション



女性の活躍推進を いじめ・不登校問題 三島 久美子 （無所属）

質問 市役所における女性の管理職登用の現状は。また、活躍推進を阻む要因とその分析は。

回答 女性の部長職は2人で女性が占める割合は8%、課長職は10人で8.8%、係長職は95人で20%、管理職全体では107人で17.5%である。活躍推進を阻む要因に、昇任を希望する女性職員が少ないことがある。性別に関係なくキャリアを積むことで意欲の醸成を図り、また、



小学校での英語授業の様子



RSウイルス感染症 堀口 順 （市民クラブ）

質問 秋からRSウイルス感染症が例年より増加傾向にあるが、現在の状況とその対策は。

回答 2歳までにはほぼ全員感染するが、この感染症を詳しく知らない保護者も多い。今後一層の増加が予想されるため、症状や予防対策の周知が重要である。本市ではホームページや保育所保健だよりで予防啓発している。

質問 新体育館の開館スケジュールは。また、駐車場整備計画の取り組みは。

回答 平成29年3月に工事が終了し、4月に開館予定である。駐車場は地下に200台、城南運動場に立体駐車場の整備を予



雇用確保対策の充実 地域における適正な賃金 林 恒徳 （市民クラブ）

質問 雇用ポテンシャルを秘めている業種の一つに農業があるが、新規就農者への支援策は。

回答 45歳未満の新規就農者に年間150万円を最長5年間支給する青年就農給付金制度がある。さらに、6次産業化やブランド商品開発のための支援を行う農業者新規創造活動補助金を他市に先駆けて創設している。

質問 勤労意欲の醸成には、教育現場でしっかり取り組む必要があるが、現状はどうか。

回答 学ぶ目的や意識を持つことを狙いとしたキャリア教育や高崎の企業や産業を学ぶことが地元で働く勤労意欲につながることを考え、副読本を作成し小・中学校の授業で使っている。

質問 魅力的な企業の情報が生徒に届いていない。本市に住み働くことの優位性を訴える必要があるが、考えは。

回答 本市のビジネス環境や企業、観光など都市の個性や魅力をPRするため、平成24年より東京丸の内高崎ビジネス誘致キャンペーンを開催してきた。今年度はバージョンアップし、都市の特徴や歴史などを一層詳しく紹介するシティープロモーション高崎博覧会を若者のまち渋谷で開催した。これからはシティープロモーションを実施し、市内外に情報発信していきたい。

質問 群馬県は埼玉県と比べ最低賃金が低い。適正な賃金水準の確保に向けた本市の考えは。

回答 産業立地振興奨励金制度など中小企業への支援策を展開し、地元企業の仕事を増やして雇用を創出し、ビジネスを盛んにすることで、地域における適正な賃金水準の確保に努めたい。



さらに詳しい内容は会議録で

本会議や委員会の内容を記録した会議録は、市議会ホームページ（会議録検索）や以下の施設で、どなたでもご覧いただくことができます。今回の本会議については2月中旬に公開予定です。

- ・市民情報センター（市役所1階）
- ・高崎市立図書館（中央図書館、箕輪図書館、群馬図書館、新町図書館、橋名図書館、山種記念古井図書館）
- ・倉渕公民館図書室